

令和5年度(2023)
全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について

令和5年(2023)10月
出雲市教育委員会

令和5年度(2023)全国及び市学力・学習状況調査に係る結果について

出雲市教育委員会では、学校、家庭及び地域による学力向上の取組をより一層推進していくために、全国及び市学力・学習状況調査の結果をまとめました。

この調査結果をもとに、市教育委員会及び学校では、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を図ります。

なお、この学力調査結果は、学力の一部であり、学力の全てを表すものではありません。

1 全国学力・学習状況調査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日(火)

(2) 対象学年及び教科

- ・小学校第6学年〔国語・算数・学習状況調査〕
- ・中学校第3学年〔国語・数学・英語・学習状況調査〕

(3) 平均正答率

① 小学校第6学年

教科	国語		算数	
	R4	R5	R4	R5
年度				
出雲市	65	67	61	60
島根県	64	65	61	59
全国	65.6	67.2	63.2	62.5
市と県の差	+1	+2	±0	+1
市と国の差	-0.6	-0.2	-2.2	-2.5

② 中学校第3学年

教科	国語		数学		英語	
	R4	R5	R4	R5	H31	R5
年度						
出雲市	70	71	50	50	55	44
島根県	69	70	49	48	53	40
全国	69.0	69.8	51.4	51.0	56.0	45.6
市と県の差	+1	+1	+1	+2	+2	+4
市と国の差	+1	+1.2	-1.4	-1.0	-1	-1.6

- ・小学校第6学年は、国語は島根県平均正答率を「やや上回り」、全国平均正答率と「同程度」であった。算数は島根県平均正答率と「同程度」であり、全国平均正答率を「やや下回った」。
- ・中学校第3学年は、国語は島根県及び全国平均正答率と「同程度」であった。数学は島根県平均正答率を「やや上回り」、全国平均正答率と「同程度」であった。英語は島根県平均正答率を「上回り」、全国平均正答率と「同程度」であった。

2 出雲市学力・学習状況調査の概要

(1) 実施日

令和5年4月18日（火）

(2) 対象学年及び教科

- ・小学校第4学年〔国語、算数、学習状況調査〕
- ・小学校第5学年〔国語、算数、学習状況調査〕
- ・中学校第1学年〔国語、数学、学習状況調査〕
- ・中学校第2学年〔国語、数学、英語、学習状況調査〕

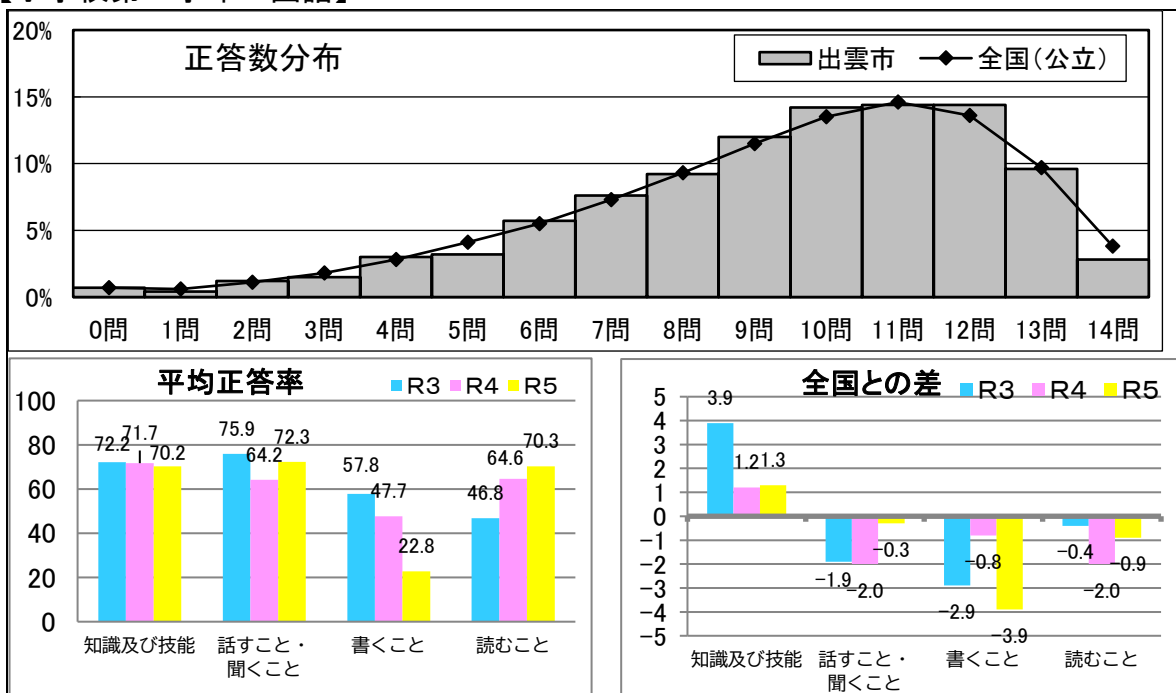
(3) 平均正答率

教科		国語		算数／数学		英語	
		R4	R5	R4	R5	R4	R5
小4	出雲市	66.6	67.1	74.5	72.8		
	全国	68.0	70.8	73.1	71.9		
	市と国の差	-1.4	-3.7	+1.4	+0.9		
小5	出雲市	67.4	67.7	61.8	63.6		
	全国	68.0	70.0	60.4	67.1		
	市と国の差	-0.6	-2.3	+1.4	-3.5		
中1	出雲市	59.8	60.6	71.9	66.8		
	全国	57.3	59.2	69.2	65.8		
	市と国の差	+2.5	+1.4	+2.7	+1.0		
中2	出雲市	67.7	64.5	59.1	53.3	54.8	45.4
	全国	66.7	63.9	56.6	53.4	55.9	46.1
	市と国の差	+1.0	+0.6	+2.5	-0.1	-1.1	-0.7

- ・小学校第4学年は、国語は全国平均正答率を「下回り」、算数は「同程度」であった。
- ・小学校第5学年は、国語は全国平均正答率を「やや下回り」算数は、「下回った」。
- ・中学校第1学年と第2学年の国語、数学及び中学校第2学年の英語は、全国平均正答率と「同程度」であった。

3 全国学力調査の結果について

【小学校第6学年 国語】



- ・高正答率（8割以上の正答：14問中11問以上の正答）の児童の割合が41.2%であり全国（41.7%）と同程度である。中間層（4割から7割の正答：6問から10問の正答）の児童の割合は48.7%であり全国（47.1%）と同程度である。

知識及び技能

- ・漢字では、文の中で正しく使うこと、送り仮名に気をつけて使うことができている。
- ・日常よく使われる敬語を理解している。

話すこと・聞くこと

- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと
の中心を捉えることができている。

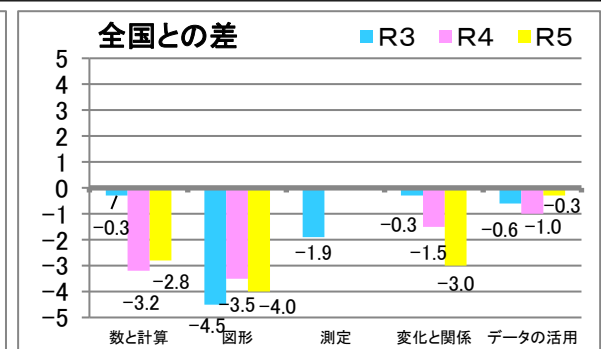
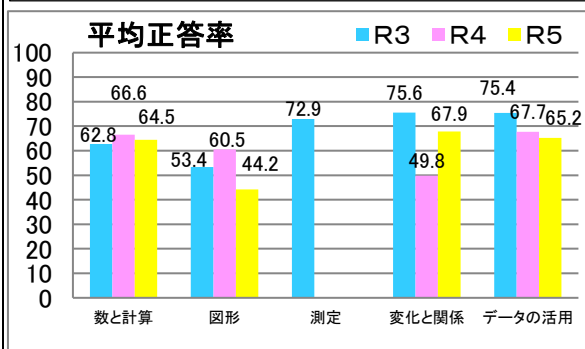
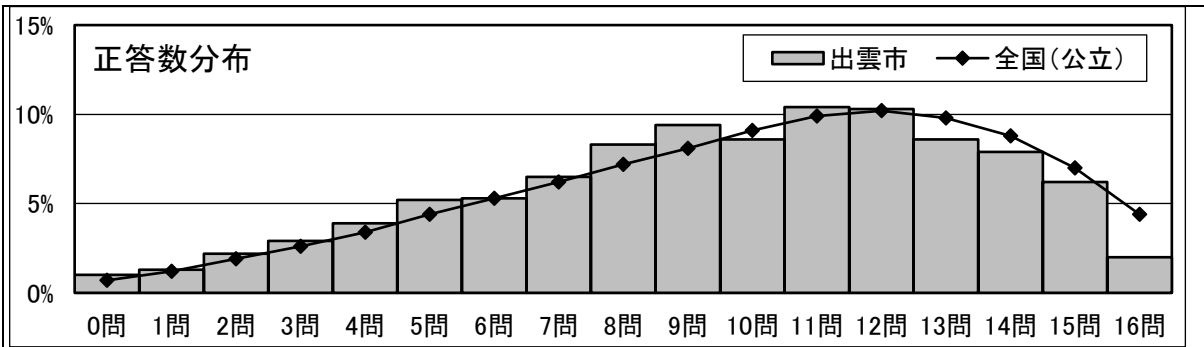
書くこと

- ・過去3年間で、正答率は下降傾向にあり、全国平均正答率とも差が開いている。
- ・図表やグラフなどから分かる複数の情報を捉え、自分の考えが伝わるように書き
表し方を工夫することに課題がある。

読むこと

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができている。
- ・文章と図表などを結び付け、必要な情報を見つけることに課題がある。

【小学校第6学年 算数】



・高正答率（8割以上の正答：16問中13問以上の正答）の児童の割合が24.7%であり全国（30.0%）より低い。中間層（4割から7割の正答：7問から12問の正答）の児童の割合は53.5%であり全国（50.7%）より高い。

数と計算

- ・一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算（ 50×40 ）をすることができる。
- ・加法と乗法が混合した式の計算をしたり、分配法則を用いたりすることに課題がある。

図形

- ・正方形の意味や性質については理解している。
- ・全国平均正答率と比較すると、過去3年間とも大きく下回っており、課題がある。
- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

測定

- ・令和4年度、令和5年度は設問がなかった。

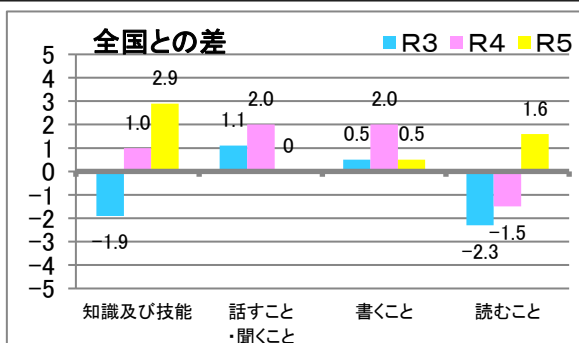
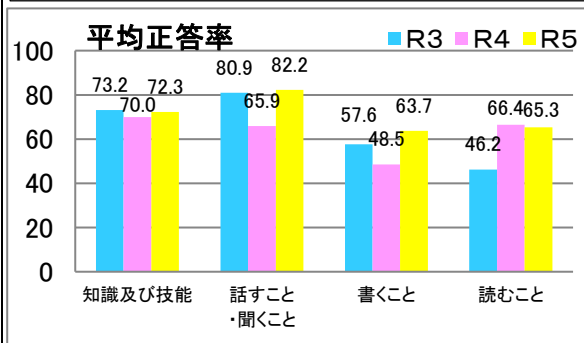
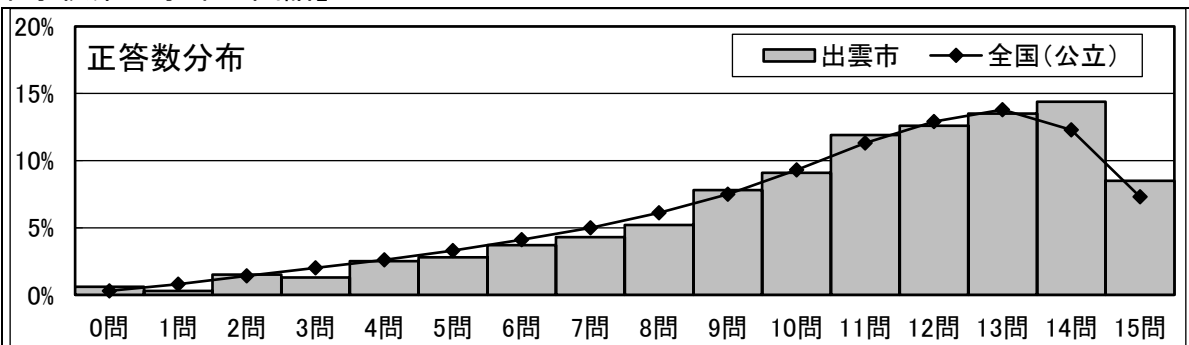
変化と関係

- ・全国との差は拡大傾向にある。
- ・伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、示された表の中の適切な数の組を選ぶことができている。
- ・百分率で表された割合の理解に課題がある。

データの活用

- ・表から条件に合った数値を読み取ることができている。
- ・複数の棒グラフを比較し、特徴やちがいを読みとり、言葉や数を用いて記述することに課題がある。無解答率も16.1%と高い。

【中学校第3学年 国語】



・高正答率（8割以上の正答：15問中12問以上の正答）の生徒の割合が49.0%であり全国（46.3%）より高い。また、中間層（4割から7割の正答：6問から11問の正答）の生徒の割合は42.0%であり、全国（43.3%）と同程度である。このことが、全国平均正答率より高い要因となっている。

知識及び技能

- ・事象や行為、心情を表す語句について理解している。
- ・「おし量って」の漢字を正しく書く問題について、全国平均正答率より12.6%も高い。

話すこと・聞くこと

- ・目的や場面に応じて質問する内容を検討したり、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができる。

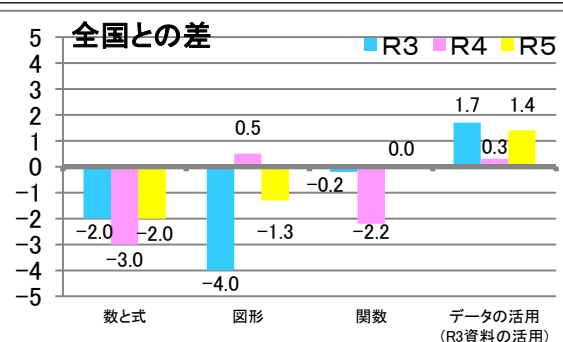
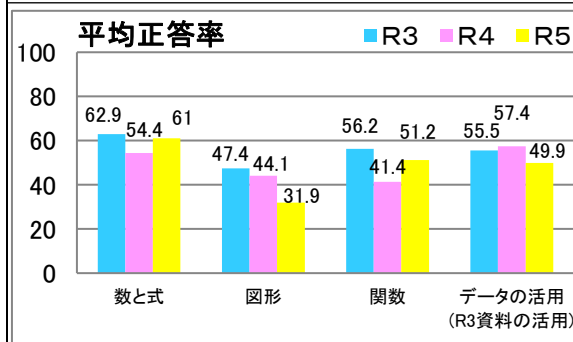
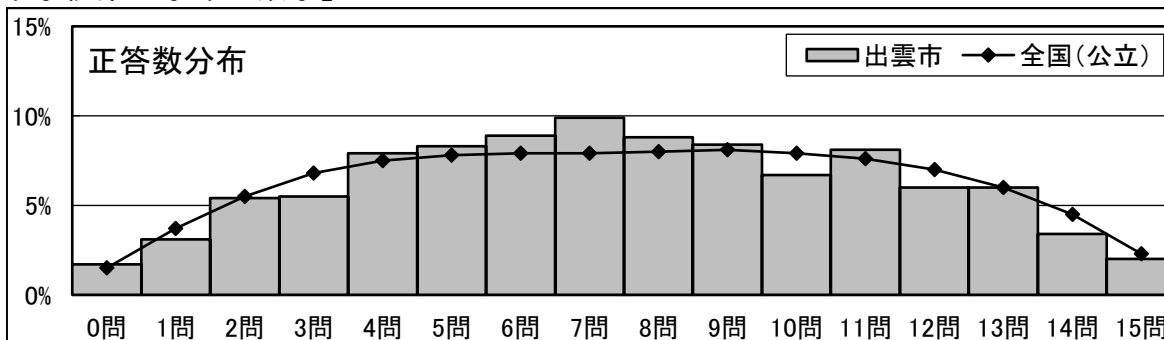
書くこと

- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができている。
- ・読み手の立場に立った、語句の使い方や文章の整え方に課題がある。

読むこと

- ・全国平均正答率との比較において、改善傾向にあり、全国よりも高くなった。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。

【中学校第3学年 数学】



・高正答率（8割以上正答：15問中12問以上の正答）の生徒の割合は17.4%であり全国（19.8%）より低い。中間層（4割から7割の正答：6問から11問の正答）の生徒の割合は50.8%であり全国（47.4%）より高い。

数と式

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。
- ・「-5、0、3、4.7、9」の中から、自然数を全て選ぶことに課題があり、自然数の意味理解に課題がある。
- ・与えられた条件に合う数式を考え、説明することに課題がある。

図形

- ・空間において平面が1つに決まる条件についての理解に課題がある。
- ・「合同な二つの三角形」を組み合わせてできる図形の性質について証明することに課題があり、無解答率も23.6%である。また、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。

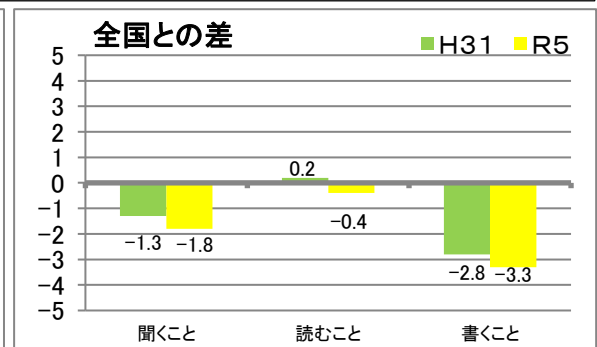
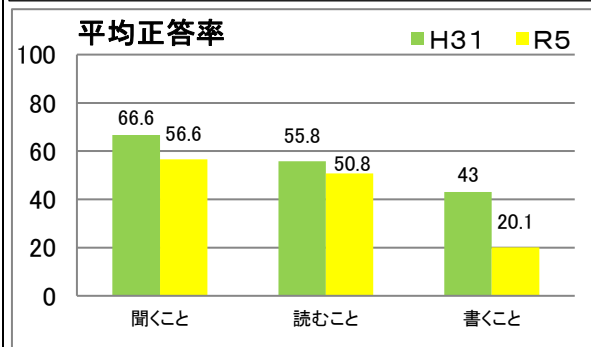
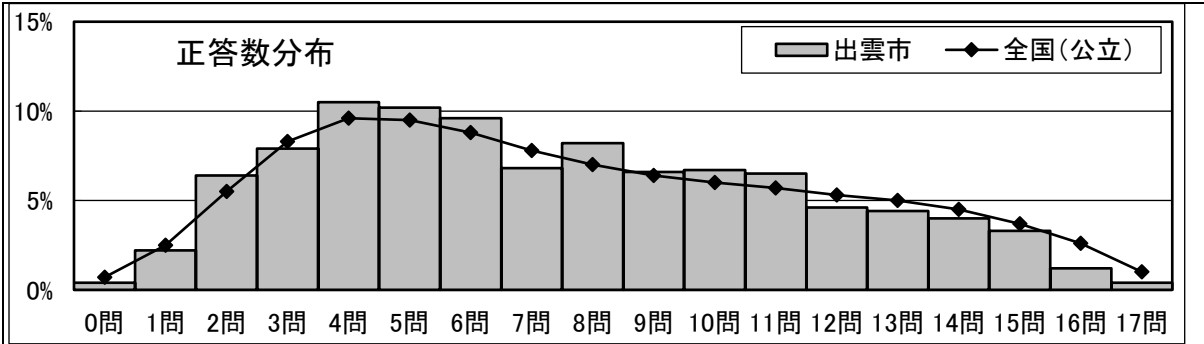
関数

- ・問題の中で、直線で表されたグラフの意味をとらえることができている。
- ・反比例において、比例定数と変数 x 、 y の値の関係の理解に課題がある。

データの活用

- ・四分位範囲の意味を理解し、数値を求めることができている。
- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。無解答率も22.2%ある。

【中学校第3学年 英語】



・高正答率（8割以上の正答：17問中13問以上の正答）の生徒の割合が13.3%であり全国（16.8%）より低い。中間層（4割から7割の正答：7問から12問の正答）の生徒の割合は39.4%であり、全国（38.2%）と同程度である。

聞くこと

- ・道案内の場面における会話を聞き、情報を正確に聞き取ることが、全国より3.1%高い。
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること課題がある。

読むこと

- ・社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることについて、全国より4.4%高い。
- ・日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることに課題がある。

書くこと

- ・社会的な話題に関する英文を読み、自分の考えとその理由を英語で書くことに課題がある。
- ・義務的な表現から依頼する表現に書き換えることに課題がある。
- ・文法や言語の働きなどの知識を活用し、正しい語順で文章を構成することについて課題がある。

4 学習状況調査の結果について

(1) 児童生徒の質問紙調査の経年変化と全国平均との差 (全国調査から抜粋)

【家庭学習等に関すること ①～⑦】

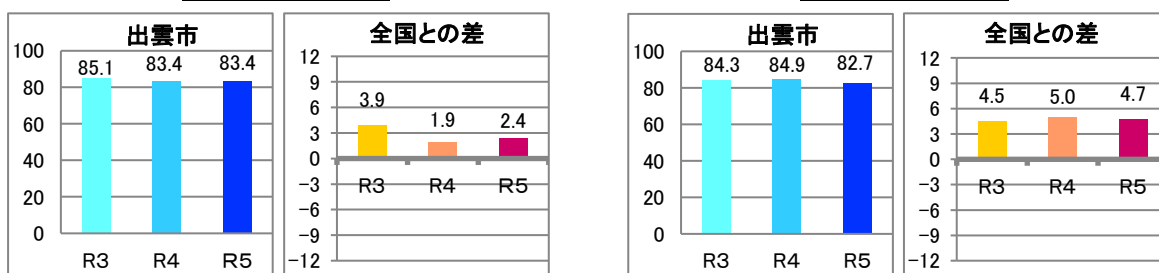
- ・全国と比較しても、自分で計画を立てて、家庭学習をする習慣ができています。また、8割以上の児童生徒が、同時刻に就寝している。
- ・「自己有用感をもつ」「将来の夢や目標をもつ」児童生徒の割合は、小学校では全国よりも低いが、中学校になると全国よりも高くなる。
- ・「新聞を週に1回以上読む」児童生徒の割合は、小・中学校とも全国より高い。
- ・「読書が好き」と回答した児童生徒の割合は、小学校では全国より低いが、中学校になると全国より高い。
- ・地域行事の参加については、新型コロナの影響もあり、依然として低い状況にある。

① 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

「している」「どちらかといえば、している」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

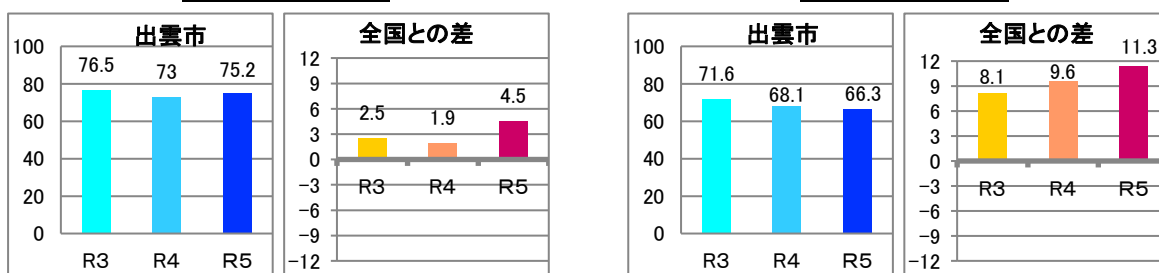


② 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)

「よくしている」「ときどきしている」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

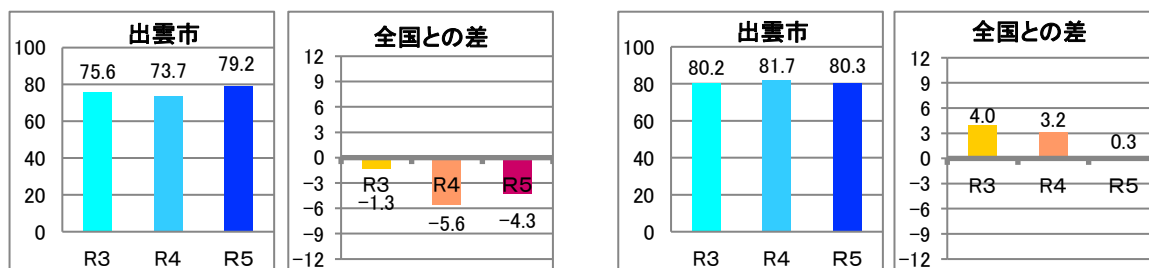


③ 自分には、よいところがあると思いますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

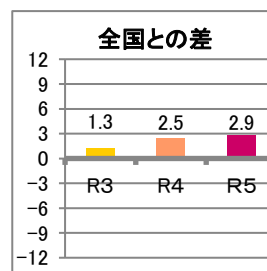
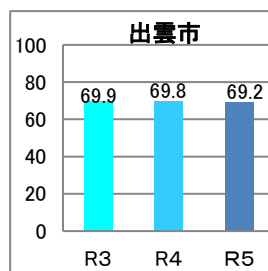
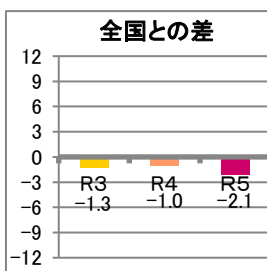
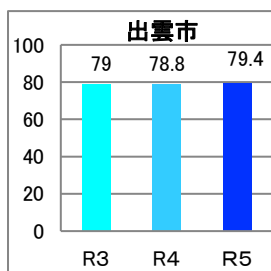


④ 将来の夢や目標を持っていますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

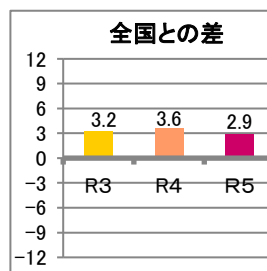
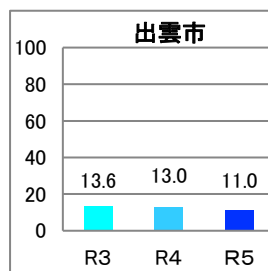
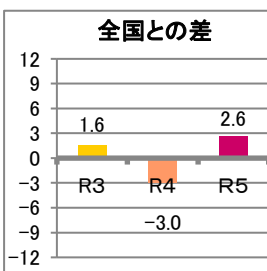
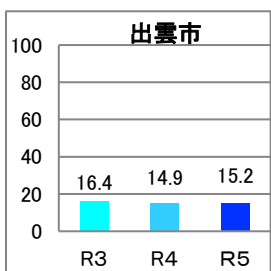


⑤ 新聞を読んでいますか。

「週に1回以上読んでいる」と回答した児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

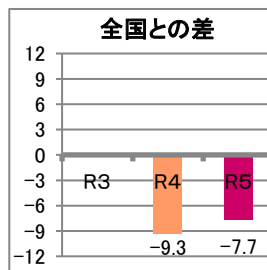
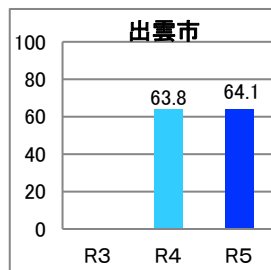


⑥ 読書は好きですか。

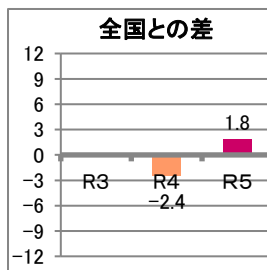
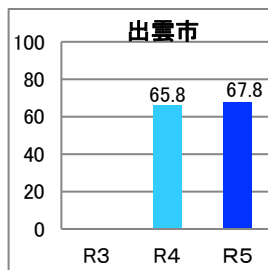
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年



R3：質問項目なし



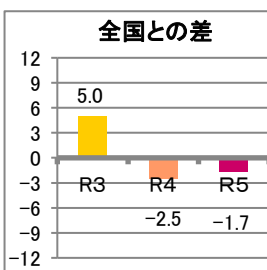
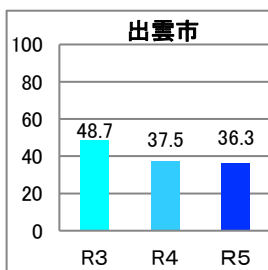
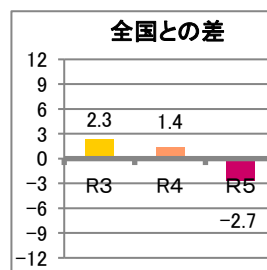
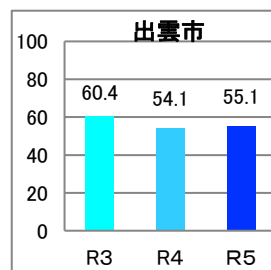
R3：質問項目なし

⑦ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年



【授業に関すること ⑧～⑩】

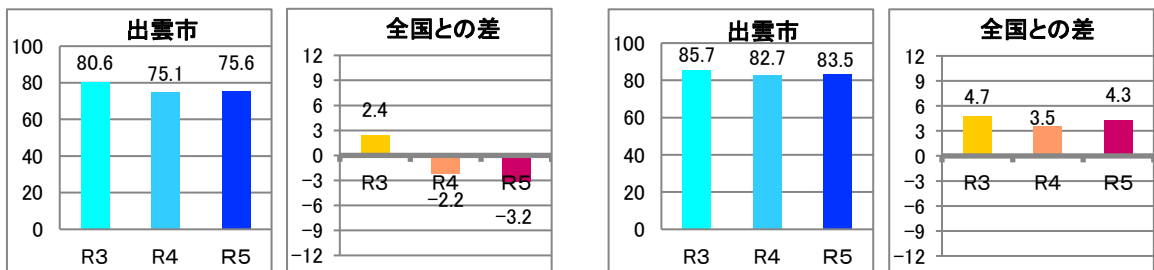
- ・中学校においては、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。」「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。」「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。」と回答した生徒の割合が全国を大きく上回っており、学習に向かう姿勢が定着している。
- ・国語、算数/数学の「授業内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合は、やや下降傾向にある。引き続き、児童生徒につけたい資質・能力を明確にした授業づくりが必要である。
- ・「授業でICT機器を週1回以上活用している」と回答した児童生徒の割合は、前年度と比較して上昇しているが、全国を大きく下回っている。

⑧ 前の学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

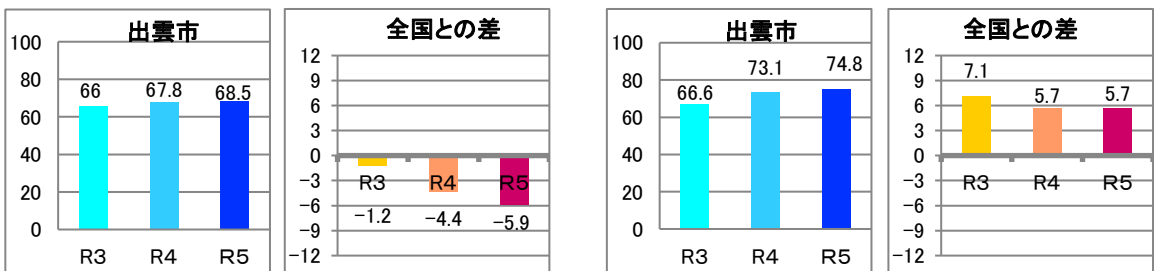


⑨ 前の学年までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

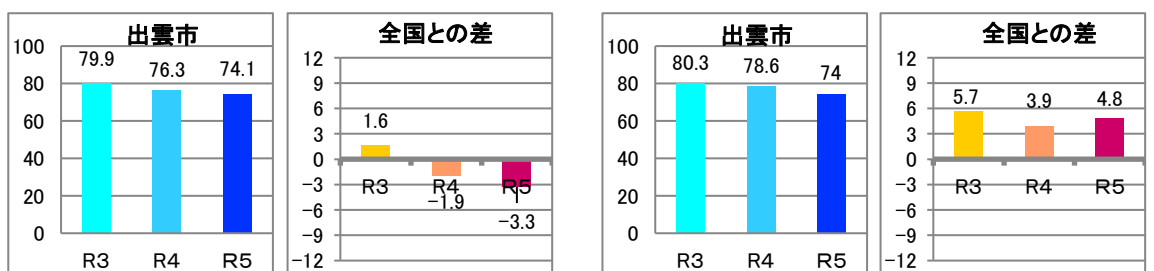


⑩ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

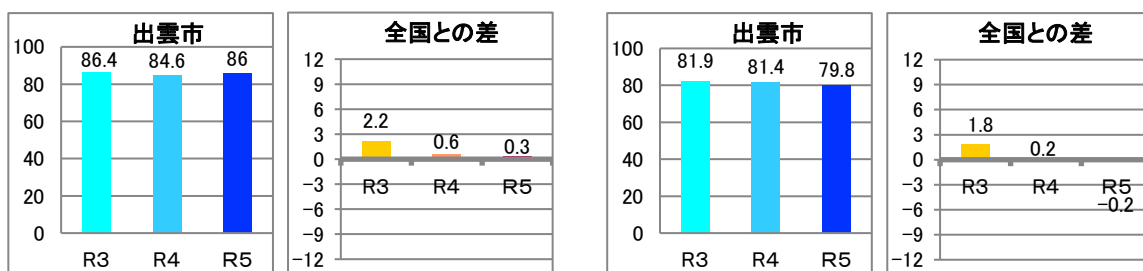


⑪ 国語の授業の内容はよくわかりますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

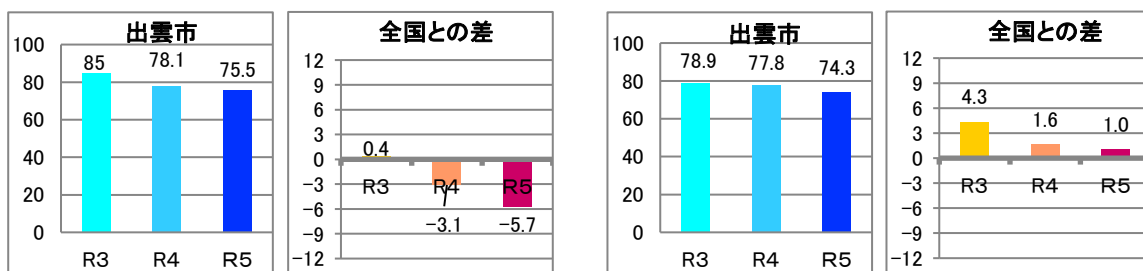


⑫ 算数/数学の授業の内容はよくわかりますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年

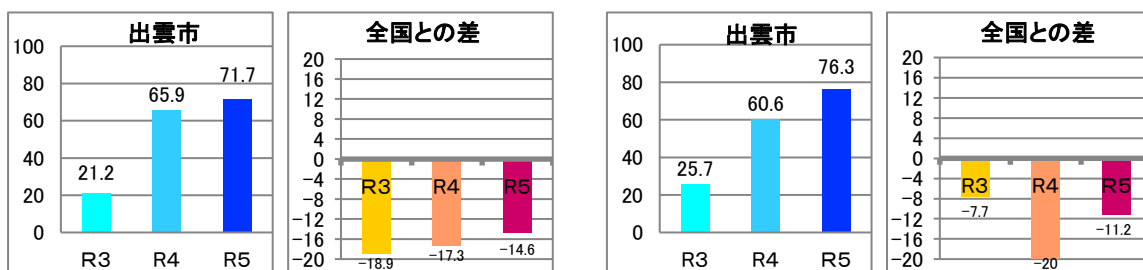


⑬ 前の学年までに受けた授業では、PCやタブレットなどのICT機器を使用しましたか。

「週1回以上」と回答をした児童生徒の割合

小学校第6学年

中学校第3学年



(2) 児童生徒の学習状況と教科の平均正答率 (全国調査から抜粋)

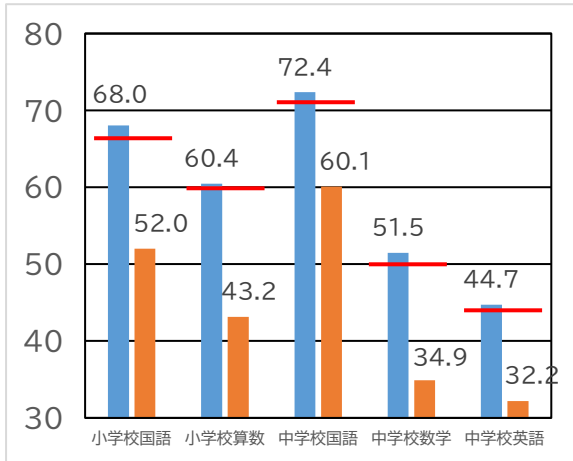
※ 次の①～⑥の質問について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などと回答した児童生徒を「肯定的回答群」、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童生徒を「否定的回答群」としている。

■ 肯定的回答群

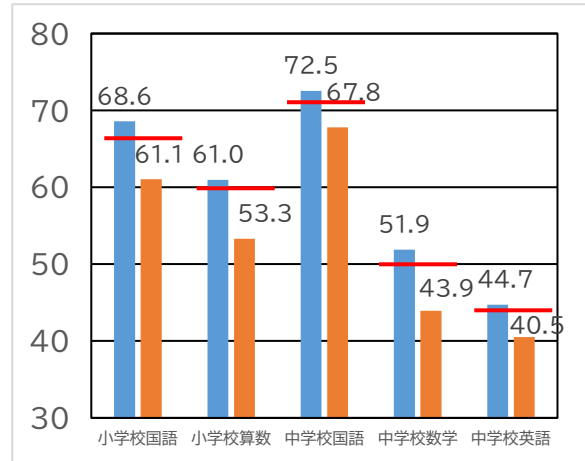
■ 否定的回答群

市平均正答率

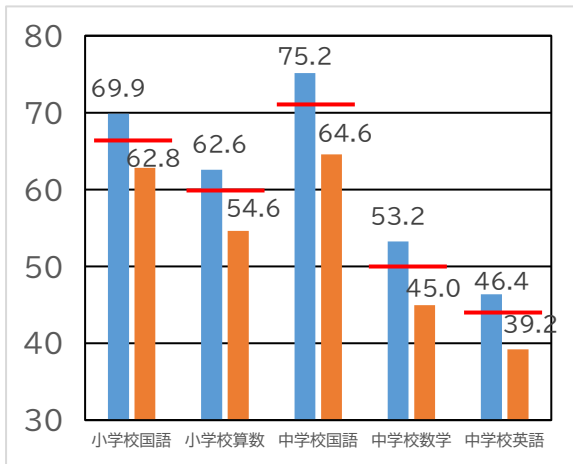
①朝食を毎日食べていますか。



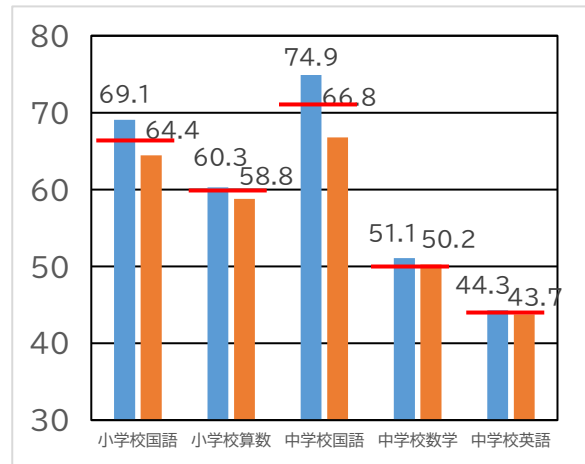
②学校に行くのは楽しいと思いますか。



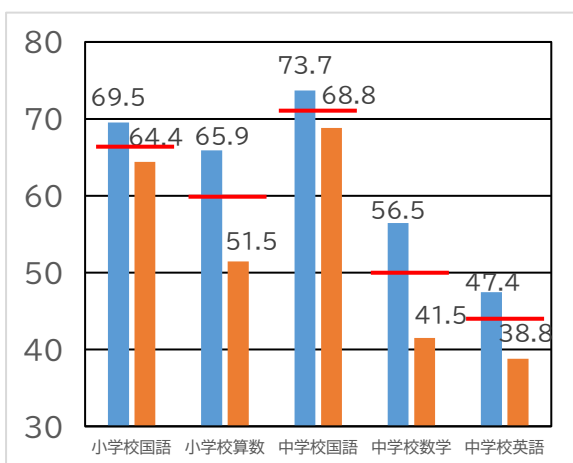
③読書は好きですか。



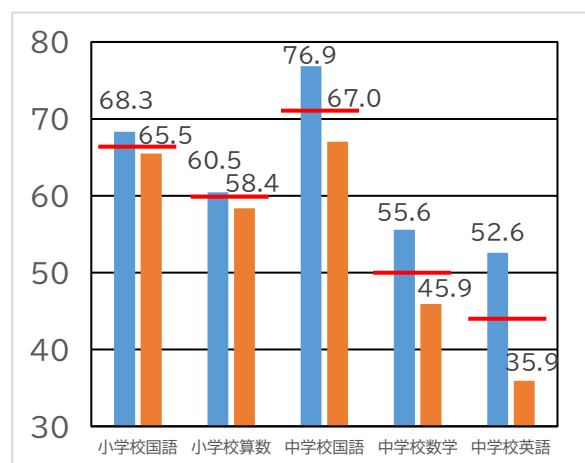
④国語の勉強は好きですか。



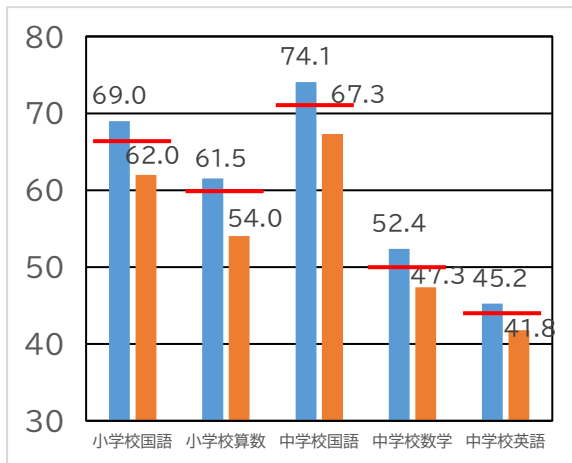
⑤算数・数学の勉強は好きですか。



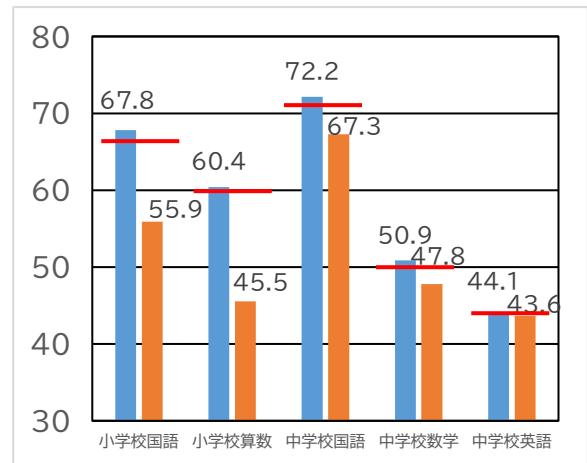
⑥英語の勉強は好きですか。



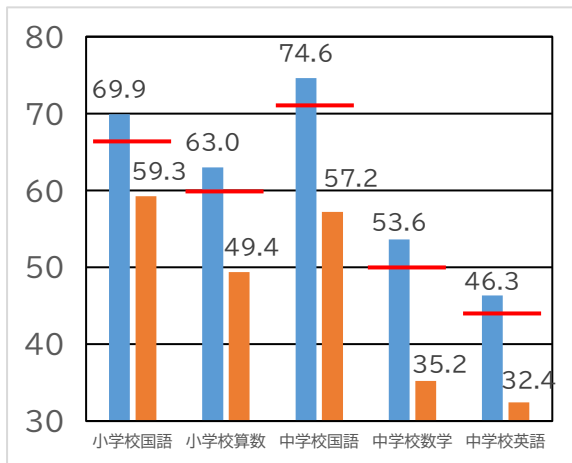
⑦家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
(学校の授業の予習や復習を含む)



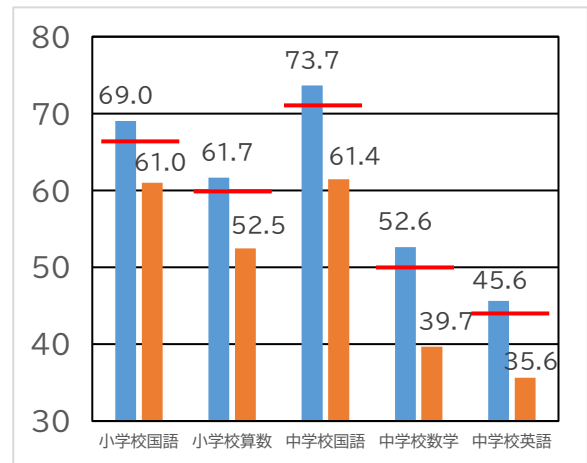
⑧学習の中でPC、タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つかと思いますか。



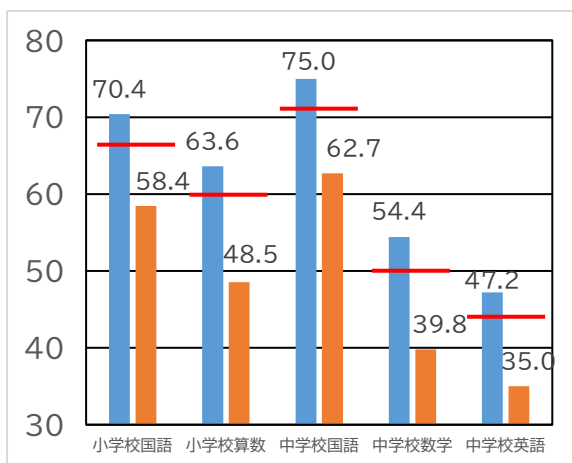
⑨授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。



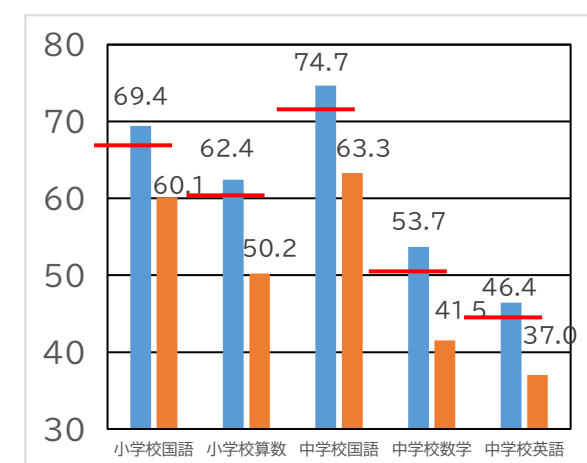
⑩学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



⑪学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。



⑫授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。



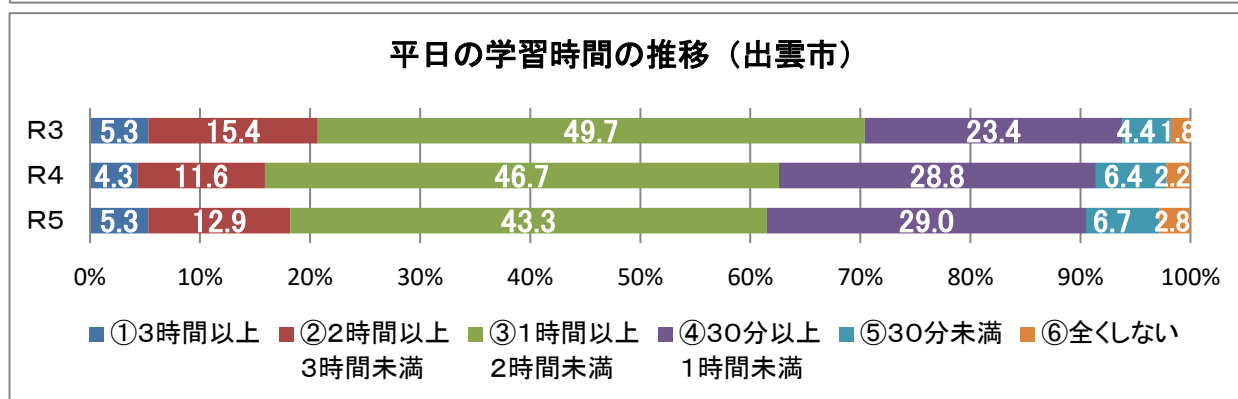
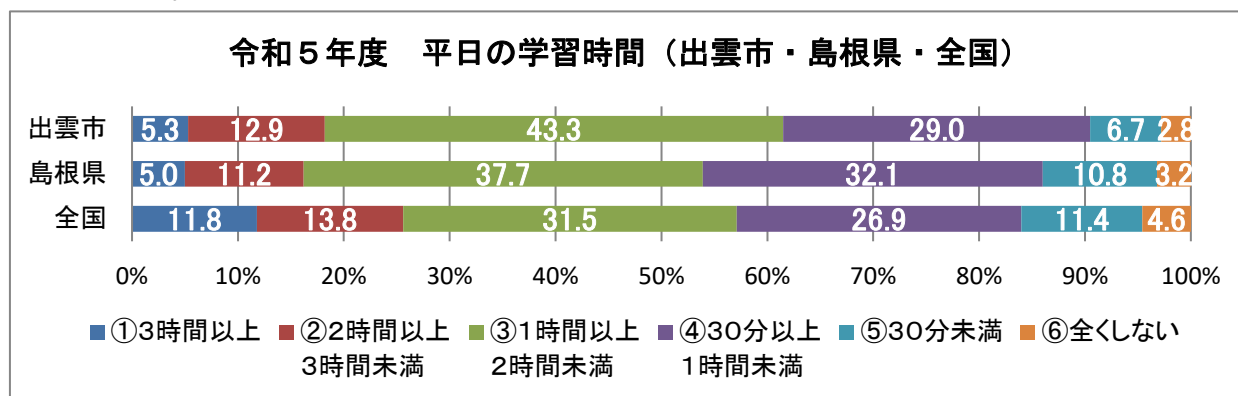
(3) 平日の家庭学習時間の状況

① 小学校第6学年

(%)

平日1時間以上学習する児童の割合は、島根県及び全国より高い。

平日1時間以上学習する児童の割合は、減少傾向であり、学習時間の確保が課題である。



② 中学校第3学年

(%)

平日1時間以上学習する生徒の割合は、島根県より高いが全国より低い。

平日1時間以上学習する生徒の割合は、減少傾向であり、学習時間の確保が課題である。

